

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課長 奥村 恭	電話番号	0852-22-5228
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	離島航路整備事業		
目的	(1) 対象	隠岐島民と離島航路利用者	
	(2) 意図	離島航路を安全で快適に移動できるよう、また、安定した物資の輸送ができるようにする。	
事業概要	離島航路の拠点となる隠岐の西郷港・別府港・来居港及び本土の七類港において、より安全で効率的な利用に向けて、岸壁等の港湾施設を整備する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	岸壁の整備率	目標値	97.8	100.0	100.0	100.0	%
			取組目標値					
	式・定義	岸壁の実施済み延長／岸壁の計画総延長	実績値	89.4				
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	133,101	461,374
うち一般財源 (千円)	51,699	64,492

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・来居港では、内航フェリーが利用する岸壁の静穏度が悪く冬期を中心に抜航がある。また、現在来居港のみフェリーへの乗降施設が未整備で、乗降客は船内の急な階段を利用している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・来居港での内航フェリーの就航率向上のため、H26年度末に岸壁改良工事に着手した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
 - ・岸壁改良工事の早期完成。
 - ・フェリー利用者、貨物搬送車等の安全な乗降が十分確保されていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - ・フェリーターミナルやフェリーへの乗降施設が未整備。
- ③原因を解消するための「課題」
 - ・港湾整備予算の確保。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・来居港は調査設計を終えた岸壁改良やバリアフリー対応のフェリーターミナル、乗降用施設の整備を急ぐよう、重点的に整備を進める。

9. 追加評価(任意記載)